



## 一般質問

## 利用しやすい区民施設をめざし

## 管理業務を公社に委託

今定例会では、二月二十四日と二十五日の二日間に、四会派五人の議員が一般質問を行い、区民施設の管理や老人医療費の一部有料化などについて、区長の考え方を聞きました。

## 区民施設の管理委託をどう実施するか

## 自由民主党

低成長経済のもと景気の沈滞による税収の伸びなやみ、国庫の行政改革、都の財政事情による歳出の抑制等によって厳しい財源難が予測され、最大限の効率的行財政運営が期待される中で、区民施設の有効利用を図るために、公社事業を「まちづくり公社」に委託するようだが、どのように委託するのか。

答：（コミュニティ形成に必要な場の利用拡大を図るため、公社には、両国公会堂、東向島公会堂の管理運営全般を委託して、無休化・時間延長を図り、地域集会所は、地元の自主管理を残す）

## 特別区の明日を考えよう

## 23区でシンポジウムを開催

「特別区の将来をみんなで考えるためのシンポジウム」が、去る二月八日、二十三特別区議会主催により開かれました。

これは、特別区が東京の基礎的自治体として、十分な自治権能をもつことができるようにするための行動の一つです。

ここでは東京大学の大森彌助教授などパネラー四人による発言があり、議員からは清掃問題等いろいろな質問がありました。

特別区の将来をみんなで考えるためのシンポジウム  
南北に通つて、住民の行動をもたらす新規自軒を自軒不燃化行動として

## 隅田川のほとり

## 橋場の渡し

丸のための柳の木の下

読経が梅若

ものと知り

梅若伝説や伊勢物語に登場す

る渡し船は、この橋場の渡しで

あつたと思われます。

隅田川で最も古くからあつた

と言われ、梅若丸の法要の時な

どたくさんのが利用した橋場

に入りましたが、悲しみはつ

るばかり。とうとう池に身を投

げてしまいました。

これは、堤通二丁目の木母寺

駅」という渡船場があつて、東

北や千葉方面を結ぶ交通の要所

呼べた渡し船がありました。

また、大正三年に白鬚橋が架け

られたため、廃止されました。

柳の木の下

柳の木の下